

県内初となるPark-PFI制度の活用により 公園の魅力向上と管理運営コストの縮減を両立

— 偕楽園月池地区整備事業 —

■ 概要

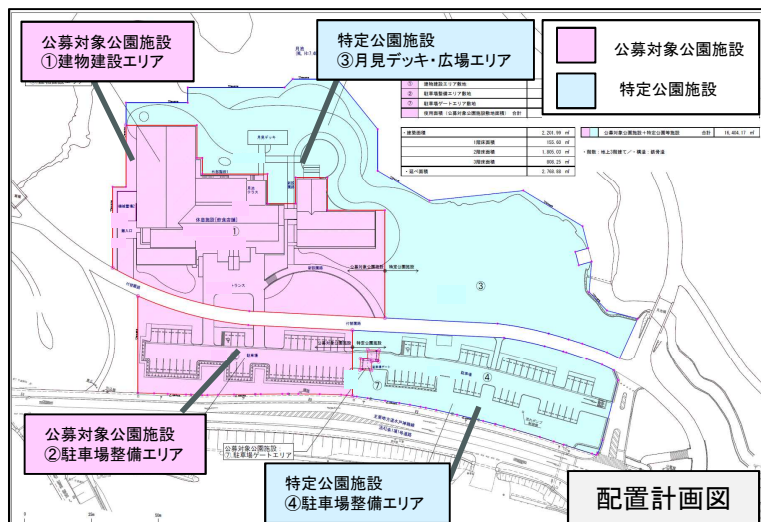
偕楽園拡張部月池地区(水戸市千波町)において、**県内初となるPark-PFI制度**を活用し、民間事業者が、目的地となる**利便施設の設置**や公園施設の整備、更には整備後における**管理運営等**を実施することにより、公園の魅力向上と管理運営コスト縮減の両立を図る。



※Park-PFI制度とは平成29年の都市公園法改正により新たに設けられた制度であり、民間事業者が設置する公園施設から得られる収益を、公園施設の整備に還元することにより、**管理運営費用の縮減**や**公園の利便性向上**を図るもの。

■ 偕楽園月池地区整備事業

計画区域	偕楽園拡張部月池地区 (水戸市千波町)
計画面積	約1.6ha ・公募対象公園施設 約0.7ha (①建物、②駐車場等) ・特定公園施設 約0.9ha (③広場、④駐車場等)
認定期間	令和3年6月1日から20年間
計画施設	迎賓機能を備えたパークレストラン (R5年4月完成)
基本方針	・偕楽園の歴史、文化、自然の本質的価値を踏まえた憩いの場 ・迎賓機能を備えたパークレストランとテラスガーデンで、一流の飲食と年間を通した多彩な催しを提供 ・人々が触れ合い、優雅な時を過ごせるカフェ・レストランなど



■ 事業効果

▶ 公園の魅力向上

- 好文亭や月池を望みながら、県産品を使用した一流シェフ監修の食事を楽しめる**唯一無二の空間が誕生**。
- 迎賓機能を備え、レストラン・会合などの多目的な利用により、新たな集客が見込まれる交流拠点として**公園の更なる魅力創出**に寄与。

▶ 管理運営コストの縮減

- 月池地区周辺の約1.6haを事業者自らが管理することによる**公園管理等の経費削減**。
- 建物や駐車場など土地使用料 (年間約600万円) による、**県の収入増**。

【パークレストラン(正面)】



【パークレストラン(月池側)】



【パークレストラン(内観)】



【パークレストラン(カフェ)】

